

祝・教育総合類型10期生卒業

3月2日（火）に、教育総合類型の生徒を含む36回生が旅立ちの日を迎えました。その多くが保育系の専門学校や短期大学への進学が決まっています。後輩たちに経験を伝えに戻ってきてくれることを願っています。類型でどんなことを学べたかを尋ねたところ、多くの卒業生が、保育園インターンシップやリトミック、甲高自然博物館などの特色ある授業で、実践的な内容を学ぶことができてよかったと答えてくれました。



ふれあい農園

3月3日（水）の放課後、教育総合類型の1年生と2年生が協力して、本校のふれあい農園でジャガイモの種イモを植えました。

最初に雑草を取り除いて土を耕し、有機石灰をまいて再び耕し、畝を作って種イモを植えました。畝には、雑草からジャガイモを守るために、黒いビニールで覆って保護しました。多くの園児が来るので、種イモを切って増やしました。力の要る作業でしたが、どの生徒も終始熱心に取り組んでおり、保育園児のことを思う気持ちの強さを感じました。

～生徒の感想より～

・一つ一つの作業は手間がかかりますが、子どもたちと一緒にたくさんのジャガイモを収穫するところを想像すれば、全く苦になりませんでした。

・自分たちが初めてふれあい農園に参加したとき、先輩が優しく声をかけてくださったので、自分たちがしてもらってうれしかったことを後輩にもできたらいいと思います。



連載・特色ある授業紹介 第4回：ソルフェージュ（3年生）

保育士や小学校・幼稚園教諭に必要な「弾き歌い」を身に付けることを目指して、歌唱とピアノの練習に取り組んでいます。歌唱は全員で『コールユーブンゲン』や『コンコーネ』、保育の現場で歌われる曲を歌い、ピアノは『バイエル』や保育の現場で歌われる曲を各自のレベルに合わせて進めています。

保育実践（教育基礎）

2月4日（木）の第5・6校時に、本校教育総合類型2年生が夙川宝プリスクールを訪れ、保育の実践をしました。この日までの「教育基礎」の授業内で、グループに分かれて2時間程度の保育計画を立て、自分たちで準備をしていました。当日は、ものづくり（鬼のお面の製作等）やサーキットトレーニング、ダンス、多種多様な遊びなどを実践しました。なかには、園児たちの要望を取り入れて臨機応変に対応しているグループもありました。時間配分がうまくいかないグループもありましたが、終わったときには、園児たちの笑顔を見ることができました。

最後は、園児たちから歌のプレゼントがあり、生徒たちも笑顔で終えることができました。

2月18日（木）の第5校時に夙川宝プリスクールの西峯園長先生が来てくださり、上記の保育実践についてのご講評をしていただきました。生徒たちからは疑問点を質問し、ものづくりの注意点や時間配分のコツ、ねらいの立て方、うまくいかなかったときの対策について具体的に教えていただき、生徒たちにとって大変よい勉強になりました。



生徒の感想より

- ・子どもたち20名に対して生徒8名で実践しましたが、保育士の先生方は、1, 2人で対応されているので、本当にすごいと思いました。
- ・事前に考えたことがうまく計画通りにいかず、その場の状況で判断して行動しなければならない時がたくさんありました。
- ・なかなか話を聞いてもらえず、時間通りに実施できず苦勞しました。メダルを渡したときはとても喜んでもらえてうれしかったです。

連載・特色ある授業紹介 第3回：心理学基礎（3年生）

心理学基礎では、大学で学習する様々な分野の心理学を先取りしています。前半は「自分を知る」、後半は「他者との関わりを考える」というテーマを掲げ、グループワーク等を通じて社会で活用できるスキルを身に付けることを目標に取り組んでいます。



教育総合類型通信 第4号

令和2年11月9日

発行人 県立西宮甲山高等学校
教育総合類型推進委員会

体育大会の「教育総合類型プログラム」

10月2日（金）に、本校の体育大会が行われました。午前の部の最後は、「教育総合類型プログラム」で、類型の3年生と夙川宝プリスクールの子どもたちがバトンをつないで走るリレーが実施されました。生徒たちがバトンを渡す際、園児の背中に手を添えて送り出している姿に、暖かさを感じました。類型以外の生徒が保育園児たちと一緒に活動する機会は今年度初めてで、多くの生徒が立ち上がって応援していました。

生徒の感想より

子どもたちにリレーの説明をするのが大変でした。（3年生）

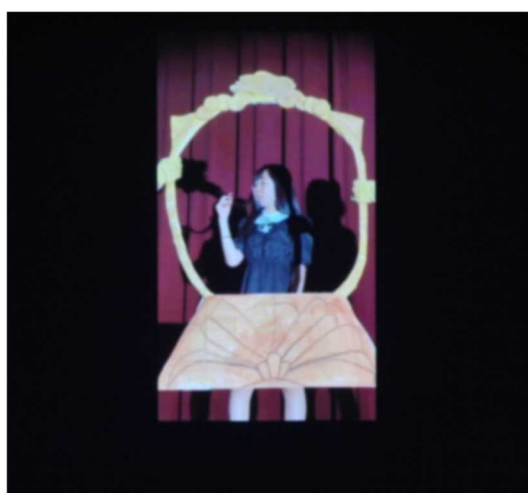
生徒のみんなで園児たちのやる気を引き出すことができてうれしかった。（3年生）



オープンハイスクール

10月10日（土）に、本校のオープンハイスクールが開催されました。午前中は、教育総合類型の生徒たちが中心となって、類型についての説明が行われました。

3年生の司会進行の下、1年生から本校への志望理由や今の気持ちが伝えられました。



続いて、2年生から「白雪姫」のセリフ劇が披露されました。新型コロナウイルスの感染防止のため、事前に撮影した映像を流し、その場でナレーションとセリフを伝える形で行われました。映像中の衣装や小道具等もすべて生徒たちが作ったものでした。また、映像中の役者たちは、表情が見えるように、オリジナルの透明マスクを着用して撮影に臨みました。

その後、2年生による保育園インターンシップの成果発表、3年生による授業紹介、3年生の学校設定科目「手話」選択者による手話歌が披露されました。

連載・特色ある授業紹介

第2回：手話（3年生）

聴覚障害を持った方とのコミュニケーションを学んでいます。手話の技術はもちろんのこと、聴覚障害をお持ちの方の生活がどのようなものであるのかも学び、コミュニケーションしようとする心を育てています。

聴覚障害をお持ちの先生と、健聴者の先生2名でご指導くださっています。今回のオープンハイスクールでは、手話歌を披露しました。



ふれあい農園の整備

9月12日（土）に、教育総合類型1年生と2年生の生徒有志で本校ふれあい農園の雑草抜きと通路の整備をしました。ふれあい農園では、毎年保育園児たちを招いてサツマイモ掘りをしています。園児たちが大きなサツマイモを掘り起こすためには、この雑草抜きが欠かせません。皆で汗をかきながら引き抜いた雑草を集めると、大きな「山」ができました。

今年度は、11月5日（木）に保育園児を招いてサツマイモ掘りを行う予定です。



保育園インターンシップ成果発表会



9月17日（木）の類型設定科目「教育基礎」の時間に類型の1年生と2年生が集まり、2年生の保育園インターンシップ（第2号参照）の成果発表会が行われました。この日は、インターンシップ先である夙川宝プリスクールの渡邊理事長先生と西峯園長先生も来てくださ

いました。西峯園長先生から、「しっかり学んでいることが伝わってよかった。今やるべきことを真摯な態度で取り組むことが大切です。」とご講評をいただきました。

発表の中では、「教育基礎」という科目の説明や1年生に向けてのメッセージなどもあり、2年生から後輩に向けて思いを伝えるよい機会となりました。

生徒の感想より

- ・インターンシップで学んだことや実際にしたことなどをたくさん細かく教えてくれたので、来年のインターンシップが楽しみになりました（1年生）。
- ・トライやる・ウィークは「体験」ですが、インターンシップは「一人の先生」として園児に向き合うということを知りました（1年生）。

連載・特色ある授業紹介

第1回：子どもの発達と保育（2年生）

保育に関する基礎知識を教科書中心に学習しています。また、子どもたちとのコミュニケーション力を伸ばすため、手遊び、童謡、折り紙、演劇なども取り入れています。また、赤ちゃん人形を使ってお世話の方法を学んでいます。保育技術検定4級の取得を目指して学習し、全員合格を果たしました。

教育総合類型通信 第2号

保育園インターンシップ

令和2年9月1日

発行人 県立西宮甲山高等学校
教育総合類型推進委員会

8月の夏休みの間、教育総合類型の2年生の生徒たちが、夙川宝プリスクールでインターンシップに参加しました。6, 7人の班に分かれて2日間取り組みました。

0歳児を担当した生徒は、食事などの日常生活行動の補助や、寝かしつけなどを体験しました。2歳児を担当した生徒は、プールの着替えの補助やブロック遊び、絵本の読み聞かせなどを体験しました。4歳児を担当した生徒は、読み聞かせに加えて、国語や算数の勉強、歌や鍵盤ハーモニカの練習の様子を見ながら、困っている子に教える体験もしました。

午後の園庭での外遊びでは、とても活発な子どもたちにも負けずに一緒に走ったり、抱っこしてあげたりと、全力で取り組んでいました。

ある日の1日の流れ

8:30	到着, 挨拶
9:00	3,4,5 歳: マラソン
10:00	朝会: 行進, 体操, 詩の朗読, 歌, 誕生日のお祝い
	各クラスに分かれて活動 0,1,2 歳: 遊び, プール 3,4,5 歳: 国語・英語・算数の勉強
12:00	お昼ごはん
12:45	0,1,2 歳: お昼寝 3,4,5 歳: 勉強, 遊び, プール
15:00	おやつ
	終わりの会 お迎え or 園庭での外遊び
16:00 頃	帰宅



インターンシップを終えた生徒たちは、2学期の成果発表に向けて、振り返りと資料作りに取り組んでいます。

生徒の感想より

○叱ることの大切さを学びました。面白がってやっていることでも、友達が嫌がっているときには叱る必要があり、先生たちは、叱るときにその子の目をしっかり見て、なぜしてはいけないかを的確に伝えていました。

○子どもたちがお昼寝をしている間に、先生たちが連絡帳を書いたり、自分の昼食を取ったりしていて、保育士の仕事は大変なのだと改めて感じた。

○子どもたちと笑顔で接することができました。以前と比べて、子どもへの接し方や声の掛け方が確実に良くなったと感じています。

○先生たちがスプーンの持ち方も厳しく指導していて、驚きました。

○保育士の方は、クラス全員を一人で見ている大変だと思った。保育士は、子どもが好きなだけでは務まらない仕事だと感じたが、ますます保育士になろうという気持ちが高まった。

夏のふれあい農園

7月15日(水)に、恒例の「夏のふれあい農園」が開催されました。夙川宝プリスクール(以下、プリスクール)の子どもたちを本校の農園に招き、教育総合類型の1・2年生と一緒にジャガイモ掘りをしました。

この農園は、去年の3月に生徒たちで耕起・畝づくり・種イモの植え付けをして準備していたものです。

なんと、今回参加した1年生の中に、プリスクールに通っていた頃にイモ掘りに参加していた生徒がいました。そして、プリスクールの引率の先生は、この類型の卒業生(4期生)の方でした。

生徒たちで農園を安全に整えてから、プリスクールまで子どもたちを迎えに行きました。1年生の代表生徒から元気な挨拶があり、子どもたちも盛り上がりました。2年生は、子どもたちと目線を合わせて名前を尋ねたり自己紹介をしたりして、すぐに打ち解けていました。

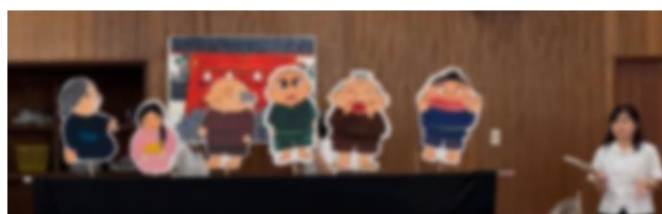
学校到着後、農園に入り、ジャガイモと一緒に掘りました。たくさん掘り当てた子や大きなイモを掘り当てた子たちと一緒に喜ぶ生徒たちの姿が、とても微笑ましい様子でした。その後、プリスクールの子どもたちから、ハーモニカの演奏や歌のプレゼントがありました。



生徒たちの感想より

- ・子どもたちとお話するときは、子どもの目線になる大切さと、子どもたちを見ながら周りにも目を配ることがすごく大切なのだと学ぶことができた。(1年生・女子)
- ・最初は緊張していたが、慣れていくと打ち解けて楽しくできた。2年生が支えてくれたので、次回は自分たちで準備などに主体的に取り組みたい。(1年生・男子)
- ・子どもたちと会話しながら、道路や段差に気を付けてと声を掛けなければならず、忙しかったです。(2年生・女子)

教育総合類型の交流会(教育基礎)



7月20日(月)に、1～3年生の類型のすべての生徒が集い、3年生が昨年、小学生に向けて発表した大型ペープサート「逆顔大王」の再演を鑑賞しました。臨時休校の影響で、再演への準備ができなかったそうですが、それを全く感じさせないすばらしいペープサートでした。今年も、2年生が発表に向けて、取組を進めていきます。

生徒たちの感想より

- ・個人練習も大切だけど、全体での練習も大切だと後輩たちに伝えたい。(3年生・女子)
- ・3年生の劇は完璧でした。たくさん練習したのだらうなと思いました。(1年生・女子)

教育総合類型通信 第1号

秋のふれあい農園

令和元年 10 月 30 日

発行人 県立西宮甲山高等学校
教育総合類型推進委員会

10 月 16 日(木)の中間考査の最終日、恒例の「ふれあい農園」が開催されました。安井保育園の子どもたちと教育総合類型の1年生、2年生と一緒にサツマイモ掘りをしました。このサツマイモの苗は、本校の「農園」に類型の生徒たちが5月に植えたものです。この日は、高校生二人と保育園の子ども一人で一組となって活動しました。バス停で生徒たちが出迎えて、バス停から農園前まで連れていき、そこでおやつを食べて打ち解けた後、農園に入りました。



なかなかサツマイモが掘れない子どもたちのために、生徒たちは懸命にサツマイモのあるところを見つけ出し、子どもたちに「一緒に掘ろう」と誘っていました。普段は虫を怖がる生徒たちも、保育園の子どもたちがカマキリなどの昆虫を見つけたときには一緒に喜んでいて、頼もしい姿を見ることができました。5月の「春のふれあい農園」のときに、類型の生徒たちで土をしっかりと

耕したことで土が固まらずにサツマイモがすくすく育ち、丸くてきれいな形になりました。また、9月に類型の生徒たちが養分を奪う雑草をほぼすべて引き抜いたことで、サツマイモに十分な養分が行き渡り、大きなサツマイモがたくさんありました。掘り出したサツマイモは、保育園の子どもたちと生徒たちが持ち帰っています。サツマイモ掘りの後は、保育園の子どもたちと1年生と2年生が交じってじゃんけん列車などの遊びをしました。帰り道では、おんぶしたり、一緒にジャンプしたり、打ち解けた様子を見ることができました。また、保育園の先生方の子どもたちとの関わり方から、生徒たちも学ぶことがたくさんあったようです。以下、生徒の感想からの抜粋です。

・私たちが少し工夫するだけで、なかなか芋を掘ろうとしなかった園児の子の反応が良い方向へ変わるんだなと思いました(1年生)。

・一番うれしかったのは、最後に帰るとき、ぎゅっと抱きしめてくれたことです(1年生)。

・草抜きは大変でしたが、子どもたちが喜んでいる姿を見ると、やって良かったなと思いました(2年生)。

